

ままムスび2010

日本で楽しくムスリム育児講座&座談会

第1回の報告

2011年1月22日(土)、ままムスび：日本で楽しくムスリム育児講座&座談会2010第1回が開催されました。

講座のテーマは「ムスリムママのための発達と発達障害講座」。この講座では、子どもの発達についてと、発達障害についての基本的なことを取り上げました。発達障害についてよく誤解されがちなことや、ムスリムの集まる学習会などで気になるお子さんがいる場合についてなどをお話ししました。

座談会のテーマは、「どうしてですか？ムスリム以外の人とのおつきあい①」。これは、去年の育児講座&座談会の1回目からずっと話題に出続けているテーマです。2グループに分かれて話し合いをしました。自分の持っている「ノンムスリムの人々のイメージ」「ノンムスリムが抱いているだろうムスリムのイメージ」をあげて、両者がうまくやっていくにはどうすればいいのかを考えました。この話し合いの続きは、第3回の座談会「どうしてですか？ムスリム以外の人とのおつきあい②」で、ノンムスリムのママさんをお迎えして行なうことを予告。参加者の方は、「ノンムスリムの人はどう思うだろう？」とちょっとドキドキされていました。

♪参加者の感想より（講座について）♪

●子どもと一緒に勉強会に参加したり礼拝にマスジドへ行ったりすると、子どもたちもとても活発で、お母さんのしつけができていないとか私に言われることがよくあります。相手の言い方、態度によってはとても悲しく心痛です。子どもの成長を知っていただくだけでも、周りとの交流が変化するののかもと思いますが、現状はきびしいです。同じことを何度も教えてもマナー悪くそこにさらに他人からお母さん！などと言われるとめげてしまいます。今日の内容をより多くの方に知っていただく機会があるといいなと思います。私個人的に子どもたちは成長の過程で個人差があることや成長の段階で吸収されることがあるだろうと感じてきましたが、今日の内容で誰にでもあるというコメントにとてもうなづけました。

●発達障害について理解できたとはいえないが、そういう子が近くにいるかも知れないのだと気がついた。障害のある子に対する対応は、ふつうの人でも気が合わない人に対して自分がどう対応したらいいのかの参考になった。また自分に対しても、ダメな自分の部分についてどう考えたらいいのか考えさせられた。

●感覚統合の話は前にもきいていたが忘れていたが多かった。発達障害に関する誤解が多く、理解されていないことが多いと感じた。発達障害のある子どもに対して大切なこととして、できない部分をできるようにすることのみに目がいきがちだが、逆に、できること、好きなことを伸ばしていくことで、本人も自信がつき、次にチャレンジしていこうという意欲が出てくるということが、とても勉強になりました。

●自分の子どもに対しては欠点ばかり目についてしまい、それをどう直せばいいのかなど悩んだりしましたが、今日のお話をきいて、焦らず本人と向き合ってたくさん良いところを発見し、それを応援していつてあげたいなと思いました。

●確かに知識として知っておくことは良いのですが、その上でどうムスリム教育や子育てにつなげていくのかがこれからの課題、いっぱい利用したいと思います。

●子どものことでいつも悩んだりしましたが、まますびを通して少し自信がつかしました。

♪参加者の感想より（座談会について）♪

●ムスリマとして孤独になることが多くありましたが、今日は皆さまと話し合うことで不安が改善できたと思います。地域やそれぞれ経験されていることから、自分は1人ではないと思いました。

●まだ自分自身がムスリムとは何か？神とは何か？などノンムスリムに近い考え方が頭にも心にもあります。ムスリムの皆さんと話すことで自然に自分が変わっていければと思います。

●2番目のチームに「非ムスリムは私たちと同じ」というイメージがありましたが、（私たちのチームでは「元、わたし」と表現しましたが）「確かに・・・」とハッとしました。やっぱり人間は人間だ。

●私自身、ムスリムでない人たちという時は小さくなる思いがあることが多いです。ふと、アッラーが私にはいる、アッラーは全知にして全能なお方、私にはアッラーがついているのに、ムスリムでない人たちと一緒にこの私の心境は、弱いなあ～と情けなく思います。

ままムスび2010

日本で楽しくムスリム育児講座&座談会

第2回の報告

2011年2月19日(土)、ままムスび：日本で楽しくムスリム育児講座&座談会2010第2回が開催されました。講座のテーマは「子どもにイスラームを伝えるってどういうこと?」。ゲスト講師をお迎えし、参加者もいつもよりさらに多く大盛況でした。座談会もゲスト講師を交えて、同じテーマで行ないました。

♪参加者の感想より♪

●話をきく前は、きっとイスラーム教育の教材(テキスト)を使いながら、どうイスラームを教えるのかのお話かなと思っていましたが、まずは親がイスラームを知って信仰し、それを実行することが大切で、子どもは親の信仰と実践を見ながらイスラームの信仰を培っていくというお話で、その通りだと思いました。私がイスラームの教育について考えていたことと同じで、共感できることが多かったです。全ての行動はニーヤ次第で崇拜行為になるというお話は、ありがたいなと思います。座談会で、子どもをイスラーム教育するためにイスラーム圏に送ったけれど、日本の手元で育てた方が良かったというお話が印象的でした。あと、障害のある子どもに関すること、私自身、障害のある子を育てていく中で、学ばせてもらうことがたくさんあり、逆にこういう子どもを授かったことをアルハムドリッラーという気持ちです。

●この日本でイスラームを伝えるということはとても大変なことであると考えていた。しかし講座をおききして、それほど難しいことではないのではと思った。特別な何かというより、親がお手本になるということである。

●ハディース「両親が子どもをキリスト教徒…」の解説がおもしろかったです。環境を悲観しないようにしようと思った。知識があろうがなかろうが、親が自分でできる限りのことを教えてあげることが必要ということが分かった。

●同じような問題、疑問を持ったお母さんが多いと思います。このような時間がもっとあったらと思いました。

●子どもをいいムスリムにするには、親がよい見本をみせなければならないというお話が心に残りました。親が教えるということではなく、親の姿をみせていけば(もちろん、よい姿を)いいのだと思います。

●モウモウとしていた気持ちがあったこともあり、方向性をはっきりと話していただきよかったです。ご自身の経験をツールにきけたので(子どもの立場として)、アルハムドリッラー分かりやすかったです。ゲスト講師の方に会うのを楽しみにしていました。お会いするのはこれで3回目ですが、短い時間でもよく効いた良いスパイスが私の心にすーっと入ってくるのです。座談会について、実践の中での質問はほんとに分かりやすいですね!自分のこととしてきくこ

とができました。私は日本だからやりやすい部分があるとも思っています。子どもたちはムスリムが1人もいない学校内で教育を受けている時間のことを思うと、家に帰ってきた時間は十分アッラーの存在を感じる空間でじっくり過ごしたいものです。

●子どもは親をみている、それを感じることはプレッシャーにもなるけど、善良なムスリムを育てることは将来何倍にも返ってくるステキなプレゼントだな、と思いました。東京でこんなにたくさんのムスリマ・ママさんたちが集まってお話しできる機会があって、地方の方々は本当にうらやましいと思います。この会で話したことやQ&Aが全国のムスリムネットワークにもっとつながってくれたら、直接参加できない方々も嬉しいと思いました。ふつうのママさんたちだって集まりたいし、それはムスリマ・ママさんたちも同じだし、そこで悩みや想いを共有することは大事なんだな、と思いました。

●ゲスト講師の方の口から、言葉、文章としてきくことで、頭の中で分かっていたことがどれくらい理解できていたかよく分かりました。お話の仕方がシンプルで率直なので気持ちよかったです。子育ても大変な時期を終えて、少しポジティブにいろいろ見られるようになってきました。子どもがまだまだ小さいので、これからももっと大変なことがあるかも知れませんが、大丈夫かなーとわけもなく安堵感ができました。・タワッカルト アラー アッラーヒ ・ニーヤ この2つ、いつも忘れないようにしたいと思います。

●（ゲスト講師より）講師という立場ですが、参加させていただき改めて教育の重要性を再確認しました。特に座談会で参加者の方々からきかせていただいた経験からくるエピソードは勉強になりましたし、皆さんそれぞれ特有の悩みというか課題があるのだなあと思いました。呼んで下さりありがとうございました。ジャザークムッラーフハイラン！

ままムスび2010

日本で楽しくムスリム育児講座&座談会

第3回の報告

ままムスび:日本で楽しくムスリム育児講座&座談会2010第3回が予定されていた3月19日の約1週間前の3月11日、東日本大震災が発生しました。交通網の乱れや電力不足の問題などもあり、この第3回の開催をどうするべきか悩みました。主催である日本ムスリム協会の青年部と婦人部の方、ゲストに来ていただく予定の方にも相談し、ぎりぎりまで考え、予定通りの実施を決めました。

当日、どなたもいらっしやらない場合も想定し、その場合は録音などを行い、あとでまとめたものをインターネット配信しようと考えていました。このとき、「できるだけ直接会って相互に話をしたい」という、ままムスびの基本方針はそのままに、いろいろな事情でどうしても会えない場合も想定して、クロスメディアで発信していこうという方針も加わえることにしたのです。後の、5月5日にスタートしたWEBままムスびの基本の考え方は、このときに生まれたものです。

実際にその日を迎えると、いつもより人数は少なめでしたが、そんなに変わらないいつものままムスびとなりました。

講座のテーマは「やる気・元気を出すには?~心理学からムスリママの気分の落ち込みを考える~」でした。こんなテーマにしたものの、講師自身が、人生二度目の大震災(阪神・淡路大震災と今回)というできごとに、ショックを受けていなかったとは言えない状況で、少々元気がなく、申し訳なかったと思います。

座談会のテーマは、「どうしていますか?ムスリム以外の人とのおつきあい②」。子育て中のノンムスリムのママさんをお迎えし、ムスリムのつきあいについてどう思うか、本音をお話してもらいました。ご自身も震災の日、帰宅困難を経験されたということでしたが、予定通り来てくださり、元気いっぱい楽しく、分かりやすく「いち、ムスリムでない人間としての、ムスリムに対する本音」を語っていただきました。(あくまで自分ひとりの意見で、これがムスリムでない人全員の意見とは受け取らないでほしい、と言っておられました。)参加者の方は、「そうだったのか~!」と驚いたり、「その通りですよ~」と納得したり、おもしろい座談会となりました。

無事に終えられて良かったと思います、アルハムドリラー。

♪参加者の感想より♪

●私は講座に出席したあとは、去年参加された方が言っていたという話のように、やる気が出ます。特に講座のテーマに関しては、専門的な知識はとても勉強になります。育児をしたことのない私でも女性として持っておいてもよいのではと思います。講座の内容とは別に、皆さまにお会いしてお話をきくことで、もっとイスラームに関して勉強しようと自ら思うことができます。自宅に帰るとその心の変化に夫は気づいてくれます。心がとてもおだやかにすることができます。これからも生きていくうえで、何度も落ち込むことがあると思います。今日の内容の、落ち込みへの対策で緩和できることを知りました。

●「①、このテーマを選んだきっかけの、②落ち込んだ時にはドゥア、サラートが良いとは分かっているけれど、なぜ良いのか？」についてですが、実際にドゥア、サラート、ズィクル等をしていて心の平安を感じた経験のある人ならば、それが良いと実感できると思うけど、心の平安を感じない人には、それが良いといっても理解できないかもしれないなと思いました。それは信仰によるものかもしれないかなと思います。良いと分かっているけど、やる気がおきないということはよくあることだと思うし、罪悪感にとらわれて、無理に“やらなきゃ、やらなきゃ”と自分にプレッシャーを与えると、よけいストレスになってよくないこともあるかなと思います。やる気がおきるまで待つ、というか、「やる気が起きるようになるようにして下さい」とドゥアするとか、プレッシャーを与えず、気楽に、気長に待ってもいいのかなと思いました。

●ムスリムでない方から直接お話がきけてうなづけることが多々ありよかったです。もともと友人をつくるのがなかなかできないタイプなので、ムスリムだからというよりも、私が質に何かあると思います。

●やはり、イスラムを勧誘していると思われると引いてしまう心理はとてもよく理解できます。戒律で守らなければならないことやルールなども、伝え方や回りの人への配慮が大事だということも分かりました。ノンムスリムの人々はムスリムが思っているほどあまり関心がないというか、イスラムのことを知らない人だなと思いました。あまり意識せずにふつうに接すれば、ノンムスリムとのつきあいはそれほど大変なことではないのだと思います。

●ノンムスリムの方の本音をお聞きすることができました。今まで周囲のノンムスリムの気持ちを直接きくことがなかったように思います。時々自分がムスリムであることに気を使ってしまいましたが、今は、気にせず、これが私の個性と周囲の人に理解してもらおうと思えるようになりました。今までは迷いがありましたが、今はありません。